

課内回覧

財政通信 No.7

平成 19 年 2 月

ご無沙汰しました。m(_ _)m 財政家長です。(今回から財政課を財政家にしてみました。)ようやく、財政家で最も大変で忙しい作業である「予算編成」が終わり、議会や報道機関への説明も終了しました。11 月から平成 19 年度の予算編成に追われ、家員一同全力で取り組みました。12 月と 1 月は、休みもなく、残業、残業また残業…みんな本当にご苦労様でした。ちょっと一息です。…ですがすぐに議会です。もうすでに、議員さんから質問予告、「財政健全化」PART3 が…。またですか。やらせてよ。わかりました。という具合で…_| |_| つかの間の休息は短いなあ～

私はといえば、予算案説明の合間に体の点検などを…人間ドッグへ、最近ドーピングしなくても血圧良好(^o^)/しかし、その日にかぎって風邪で体調不良。次の日朝一番で帰ってきたら、健康センターから電話が！一瞬ドキッ！！ドクター曰く「白血球が異常に多いんですが体調悪いんじゃないですか？」不安を胸に、午前中の庁議に出席、終了後 医院へダッシュ。いきなり注射をうたれました。…おかげさまで回復(^o^)/財政状況が良くなる注射はないかなあ～

今回の予算編成もスタート時点では 30 億円を超える不足。…愕然((+_+)) …収入面での要求の甘さもありましたが…しかし、地道に査定作業を進めなければなりません。少しでも不足額を抑えられるように…。

「各課の要求スタンスはどうか。よく考えてきているか。見直しするところは検討してきているのか。」「前年度と同じようにもってきたところもあるんじゃないのか。<^へ^>」…「いえ、今年をよく考えてきているところが多いですよ。課は相変わらずですけど」「じゃ、何で去年と変わってないんだ。<^へ^>」「経常経費(支出しなければならないもの)が伸びています。すげー勢いです。しかも 課がまだ持ってこないの、もっと増えますよ」のやりとり。

このままじゃどうあがいても予算を組めないの、いろいろ考えました。まず、一般財源の確保。市税と交付税など再計算だ。×(@@)/留保なんかとんでもない。

しかし、計算するたびに減額要因が…これは、まっますい…

「市税もっと伸びねえか?」「税源移譲ですけど、来年は 10 ヶ月分だけです。」

「かっ家長、新型交付税の導入で数千万減額かもしれません。(T_T)」

「なにい～。すぐに国、県に確認して要望書を提出しよう。」(全国の市町村からも要望がいろいろあったのでしょう。最終的に影響額は少なくなるようです。)

よし、目的基金も満額入れるしかない。大きな改修費にも…ほんとは少しでも残したいけど

(>_<)しかし、新たな借金は、18 億円まで…これはぐっとこらえて守ろう。

「よ～し、査定方針を発表する。みなのものよく聞け！」

- ・福祉関係経費は 18 年度の実績で。伸びは見込まない。伸びたら補正で仕方ない。
- ・新たな電算構築費の支払いは、20 年度以降に設定。
- ・公共事業の一部を休止。とりあえず 1 年間我慢です。(T_T)
- ・借金返済は平準化で先送り。
- ・職員にできることは職員でやろう。(施設管理事務所にもお願いしてみよう。)
- ・塵芥や衛生センターなど一部事務組合にもお願いして負担を減らしてもらおう。
- …などあらゆる予算を総点検。

そして、なんと予備費まで減額。_| |

もしも、歳出でこれ以上の見直しができなければ、歳入を増やすしか方法がない。

歳入確保策もといろいろ検討しました。

工業団地拡張も道のりは険しいが、今からでも手を打っていこう。準工業地域もまだまだ残っている。本町などまちの活性化も考えていかなきゃ…なんといっても、企業誘致。そして市民の所得も底上げしないと、良くなりません。

CMでヤ ダデンキ龍ヶ崎店が 3/2 オープンに！少し期待しています。

今、『龍ヶ崎市発展枠』として、予算枠を確保することを考えています。来年に向けて検討中です。

年々厳しくなる予算編成(>_<) …一般財源、市税や交付税など自由に使えるお金が減ることは間違いありません。家計に例えると、子育てや教育費が増える一方で、給料、ボーナスが減っているんです。少ない預金を解約するか、借金も考えなくちゃならないことになります。それでも、最近職員の皆さんの意識も変わり、協力いただいているところが大きいです。＼(-o-) /おかげさまで昨年度の不足よりは縮小できています。ご協力ありがとうございました。(^^) / 昨年の実質的な不足額(預金解約で穴埋めしている分です。)12 億 5,000 万円が 9 億円に…。それでもまだ 9 億円かぁ。(T_T)昨年より減ったが、執行もきつい。来年度はよっぽど頑張らないと。

(部長に鬼<`へ`>になっもらうか…)

しかし、市は、厳しい中でも「限りある資金」を生かして、市民の皆様のニーズに最大限お応えしなければならぬんです。ただし、お金がないんですから、全ての要望に応じた「あれも、これも」から「あれか、これか」の政策選択の時代になります。この結果、市民の皆様にも我慢を強いるケースも考えられます。これから必要なことは、これまで以上に行政の実情について十分な説明をしていくことだと思っています。そして、市民の皆様にも、知恵と力をお借りしなければならぬとも感じています。

今回の予算の概要では、「家計にたとえた予算」「主要事業マップ」を作成して、公表しました。これについては、一部の市民からほめていただきました。(^^)v

しかし、りゅうほー2月号から連載を始めた「りゅうがさきのサイフ」は、わかりにくいと言われてしまいました。(ToT)財政通信のように書いてくれと頼まれました。第1回目は夕張市で話題とな

った「財政再建団体」をテーマにしたんですが、ことばも難しくわかりにくかったようです。3月号も現在作成中ですが、頭を悩ましています。

去年は、この「財政通信」、議会後の発行。少しサボりました。まもなく、議会が始まりますが、今年は、その前に発行することができました。皆さんに 18 年度予算執行での協力をいただくために…。

18 年度の財源不足はあと 8 億円…みなさん、今一度予算執行の総点検をお願いします。今は、昔と違って、「使い切り予算」ではなく、「予算は限度額」です。余らしたらダメではなくて、必要最小限の予算で予定していたことができればいいんです。そして余ったお金が多いほど評価される時代です。財政家では評価します。

さて、今度は議会での予算説明。(隣の部長はもう勉強始めてます。)一般質問もでたよう

で…。そして財政家の一員は、また忙しい時期に…。休む暇がありません。お酒に誘っても断られそう

前置きが長くなっちゃいましてすいません。では、H19 年度予算の概要をお知らせします。

19 年度の予算総額は、約 386 億円。前年度に対して 2.3%の増。一般会計は、約 223 億円でほぼ前年度並み。0.01% (200 万円) 増です。馴染小改築や総合運動公園で前年度より約 4 億円伸びているにもかかわらず、前年並みですから、実質的にはマイナスです。健全化の取り組みでは約 5 億円程度の確保をしています。まだまだ当市の実力(だいたい今で 200~210 億円くらいじゃないかな。)以上の予算です。再度申し上げますが、「予算は限度額」の認識で執行願

(単位：千円，%)

会 計 別		平成 19 年度	平成 18 年度	比 較	増減率
一 般 会 計		22,266,000	22,264,000	2,000	0.01
特 別 会 計	国民健康保険事業	6,904,000	6,176,000	728,000	11.8
	公共下水道事業	2,383,500	2,326,500	57,000	2.5
	老人保健事業	4,204,500	4,276,000	71,500	1.7
	介護保険事業	2,728,000	2,572,500	155,500	6.0
	その他	101,732	118,102	16,370	13.9
	特別会計 合計	16,321,732	15,469,102	852,630	5.5
総 計		38,587,732	37,733,102	854,630	2.3

詳しくは、予算の概要をホームページにアップしていますので、ご覧を \(-o-\) /

ここで、新しい事業を紹介しましょう。

なんと、またまた児童手当が拡大。3歳未満の乳幼児の支給が一律1万円になります。(うちでは係長のところだけか、ありがたいのは…。)

ここ何年も要求があって計上できなかった「戸籍電算システム」もようやく計上。県内でも龍ヶ崎市と 以外は全て整備されているようです。戸籍の作成期間や交付の待ち時間が短縮されるそうです。稼動すれば人員減も可能です。長引くとそれだけ費用がかかるということなので、思い切って決断しました。(>_<)

目新しい事業では、「龍ヶ崎市教育の日」の制定。今、国の教育再生の取り組み、そして「いじめ」が深刻な社会問題となっている中で、学校ばかりでなく、地域、企業、団体など社会全体で子どもを見守り、子育てを支える環境を築いていく試みであります。また、たつのこフィールドの開設に合わせて、「スポーツ健康都市宣言」も行われます。宣言モニュメントや垂れ幕の設置のほか、イベントやスポーツ健康都市づくりの施策に予算を配分しました。

ねんりんピックは、11月11日・12日です。たつのこアリーナで健康マージャン交流大会が開催されます。 \(-o~) /

主要事業では、駒柴小学校改築に約10億円、総合運動公園建設(野球場)に約5億8,000万円、コミュニティバス運行事業に8,100万円。新しい循環バスを購入して、運行ルートの拡大も図ります。また、市街地の活性化策として、メインバザールでにぎわっている「にぎわい広場」の整備にも着手していきます。(^o^) / 駒柴小の校舎改築は19年度中に終了し、年度内には子どもたちも新しい教室に入れそうです。 \(-o~) /

引き続き、教育と子育てに予算を重点配分していますが、19年度は第5次総合計画のスタートの年でもありますので、その重点施策となるリーディングプロジェクト事業も実施していきます。てくてくロードや健康公園など「健康の散歩道」整備や「防犯まちづくり連携」、「エコスタイル推進」などです。

新たな計画策定や調査も実施します。(^o^) / 女性プランの改定や地域福祉計画の策定です。また、JR佐貫駅等改名に伴う意向調査やつくばの里工業団地拡張事業検討調査も進めていきます。(^ ^)

一般会計を『龍ヶ崎家の家計』に例えてみました。

お父さんはサラリーマンで妻と子供2人、両親の6人家族です。お父さんの基本給は361万円。(ちょっぴり上がったかな)、しかしボーナスは93万円で今年も減額。そのほかに両親からの生活費94万円とお母さんのパート収入が104万円。合計で652万円です。

これに対して、支出見込みは、普段の生活費で89万円。介護サービス料や医療費で185万円。ごみの処分や健康診断で84万円。子供部屋のリフォームで82万円を見込んでいます。教育費はお姉ちゃんの高校入学や、弟の学習塾の月謝などで142万になっています。

家のローン106万円も支払わなければなりませんし、町内会費など雑費で72万円かかります。

1年間の支出合計は、760万円です。

これでは、足りなくなってしまう。このため、リフォームローンを申し込んで58万円借りることとしましたが、これでも足りなくて、預金を50万円解約することにしました。

この結果、ローン残高が1,000万円あるのに、預金残高は94万円となってしまいました。このままいくと、同じ生活はあと2年間しかできません。(実は私んちも、子どもたちがそれぞれ進学。娘は看護師学校。お金がかかりそうです。奨学資金？教育ローン？検討中です。(>_<))

夏休みには家族旅行にも行きたいお母さん。車を買って替えたいお父さんもがまん。(^^)お母さんは、家族全員に節約命令(>_<)を出しました。お父さんのお酒とタバコも切り詰めてください。お弁当も自分で作ります。省エネにも取り組んで全員で協力して乗り切るつもりです。

頑張れ 龍ヶ崎家！ 夢・希望をもって \ (^o^)/

H19年度は、「第二次財政健全化プラン」のスタートの年でもあります。

目的は、第5次総合計画(今後10年間のまちづくり指針)の施策が実現できるよう、その資金を確保していくこととあります。基本方針の一つとして、職員のマンパワーの活用を掲げています。職員一人ひとりのやる気と実行力で何とか、今の厳しい時期を乗り切っていきましょう。私の気持ちでは、あと3年間で財政を立て直したいと思っています。本来業務のほかに、さまざまな業務をしなければならないこともあるかと思いますがご協力をお願いします。m(_ _)m

次号では、平成18年度の決算見込みと財政の状況についてわかりやすく報告したいと思います。では、また次号で<(_)>